

地球環境局環境保全対策課

1. 事業の概要

近年、中国を始め、韓国、日本でも被害が急激に拡大している黄砂は、日本、韓国、中国及びモンゴルの共通関心事項である。現在、これら4か国及びUNEP等の国際機関によって「アジア開発銀行(ADB)-地球環境ファシリテイ(GEF)黄砂対策プロジェクト」が実施されており、モニタリングネットワークが構築・運営されるとともに、今後、実際に、中国・モンゴル国境で黄砂に関する発生源対策の各種技術を施工し、その効果を把握する実証プロジェクトの実施が予定されている。

このような背景の下、以下の事業を実施する。

ライダー装置(レーザー光線により上空の黄砂の分布をリアルタイムで観測する装置)による国内での黄砂モニタリングネットワークの整備、運営

国際黄砂モニタリングネットワークの確立

ライダーネットワークで得られたデータを、日本、韓国、中国、モンゴルの4か国で検証・交換を行うスキームについて、国際ワークショップ等を開催して検討

2. 事業計画

項目	15・16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
国内ライダー装置設置						
ネットワークの確立						
技術評価・適用性検討						

3. 施策の効果

国際的な連携に基づいて、発生源対策地域における効果的な対策の実証が行われるよう措置する。実証地点の当該国が実証結果を他地域にも応用することにより、黄砂に関する発生源対策に資することが期待される。